

戦争は嫌だ
 読谷中学校三年三組 玉城 光乃
 梅雨に入るともうすぐ六月 慰霊の日が近
 づいてくる。この時期になると、母は必ず話
 します。昔は今頃戦争の真只中だったの
 かな。雨が降る日もあれば、太陽の暑い日も
 ある。寒かったり、暑かったり、苦しかった
 人だろうね。あの時代の人の事を思えば、お
 母さん達は幸せだね。と、毎年同じ事を必
 ず話すのです。

戦争を体験して、いない私達、戦争な人で昔
 の話しだと安心してしまいました。しかし現在、
 戦争がおこるかもしれないという不安を感じ
 ています。

そのわけは、ニューリスから流れてくる憲法
 改正、政府の都合の良い解釈のもとで取りし
 まる共謀罪の成立などは、戦争の中を生きた
 いてきたたひいおじいちゃんからすれば、あ
 の頃を思い出す。又昔のようになつてしま
 いか。と表情が険
 しか。と表情が険

しくなりました。こんな、ひいおじいちゃん
 の表情は見たことがなかっただのひいおじ
 いちゃんを見ているだけじゃバインだっ
 と言う事が伝わってきました。中学三年生の頃
 私ひいおじいちゃん、は、中学三年生の頃
 サイパン島の戦身を体験しています。サイ
 パン島の戦身は、夕方になると米軍は島か
 ら引き上げて行っただそうです。岩陰に隠れ
 いたひいおじいちゃん達は、今日一日終
 った。と思いき安どしていたその時、日本兵が
 手榴弾を投げつけ、そこから銃撃戦になり自
 分の目の前で、お母さんと、お姉さんが流れ
 玉に合い七なくなっただそうです。家族を失い
 一人で沖縄に帰って来たひいおじいちゃん、は、
 親戚を訪ねて助けってもらったそうです。沖縄
 に帰って来たその後の話しを私が尋ねると
 一言いたくない。と言います。きくと、あの
 頃が辛すぎた言葉に出来ないのだろうと思
 います。

毎日、ニュースから流れてくる辺野古基地
なものはない。と。
人が人ではなくな。てしま。う。戦争ほど愚か
ひいおばあちゃんはお盆になると親戚
の家に行。つて、酔。つて、払。つて、遅。くにし。か、帰。つ
こなか。つたよ。親戚の家にはお父さんお
母さん、兄弟がいるのに、自分にはい。ない。つ
つ、い。つてもぐ。ち。つたよ。と話。しま。す。つ、
しか。つた人だ。ほ。す。ね。今は、先。い。話。し。に。変。え。て
話。せ。る。け。と、若。い。頃。は、可。哀。想。だ。つたよ。と話
し。つ。く。れ。ま。し。た。お。の。頃。の。ひ。い。お。い。ち。や。ん。が。体
り、好。き。な。物。を。買。つ。た。り、楽。し。い。時。間。を。過。ご
し。て。い。ま。す。あ。の。頃。の。ひ。い。お。い。ち。や。ん。が。体
験。し。て。い。た。時。代。と。は。比。べ。も。の。に。な。り。ま。せ。ん。
今。の。私。が、ひ。い。お。い。ち。や。ん。の。よ。う。に、一。人
で。生。活。を。す。る。こ。と。に。な。つ。た。と。考。え。る。と、頭。が
お。か。し。く。な。り。そ。う。な。位。と。も。怖。い。で。す。
ひ。い。お。い。ち。や。ん。は。言。い。ま。す。つ、戦争は
な。も。の。は。な。い。と。
戦争ほど愚か

今の私は、勉強をしたたり、友達と笑。い。合。つ。た
今。の。私。は、
中。学。三。年。生。と。い。え。ば、今。の。私。と。同。い。歳。で。す。
し。つ。く。れ。ま。し。た。お。の。頃。の。ひ。い。お。い。ち。や。ん。が。体
り、好。き。な。物。を。買。つ。た。り、楽。し。い。時。間。を。過。ご
し。て。い。ま。す。あ。の。頃。の。ひ。い。お。い。ち。や。ん。が。体
験。し。て。い。た。時。代。と。は。比。べ。も。の。に。な。り。ま。せ。ん。
今。の。私。が、ひ。い。お。い。ち。や。ん。の。よ。う。に、一。人
で。生。活。を。す。る。こ。と。に。な。つ。た。と。考。え。る。と、頭。が
お。か。し。く。な。り。そ。う。な。位。と。も。怖。い。で。す。
ひ。い。お。い。ち。や。ん。は。言。い。ま。す。つ、戦争は
な。も。の。は。な。い。と。
戦争ほど愚か

の問題を人事とどこかで見ている部分もある。家
ありました。慰霊の日が近づいて、
族から戦争の話を知ると、改めて戦争の無い
時代の大切さを感じます。辺野古基地を作っ
てしまおうと、戦争のない時代が続かなくなっ
てしまおうのではないかと思えます。
今ある基地を無くすことが、戦争の無い時
代を作る第一歩で、今無い基地を作ることは、
戦争に撃たれる一歩かもあると思えます。
平和の第一歩を踏み出すのか、戦争の第一歩を踏み
出すかは、私達一人一人の思いに掛かっています。
戦争は嫌だ。